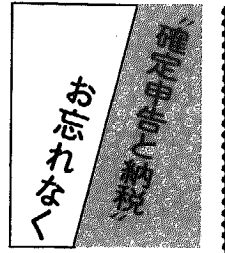
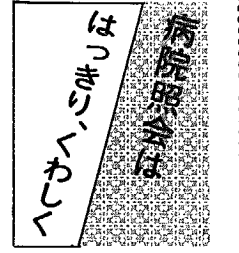




交通災害共済の加入申し込み書は、もうお手もとに届きましたでしょうか。今、加入されている人も今月三十一日で共済期間が終了します。おすれたり用紙をなくさないうちに加入の手続きをすませてください。加入の方法は、加入申し込み書に記入されている世帯員に三五〇



昭和五十五年分の所得税の確定申告と納税は三月十六日(月)までとなっています。税務署や税務課では所得金額の計算や申告書の書き方などについて、おわかりにならない方々に、いつでも相談に応じています。



消防分署に病院の照会をする場合、年齢・性別・かかりつけの病院・患者の症状など、できるだけ詳しくお知らせください。消防署では、これらの報告によって、病院に連絡しみなさんに紹介し、入院に行く場合、保険証を忘れず。問い合わせは二二三三六〇。

国民年金の保険料

4月から 4,500円に

国民年金の保険料は、今年四月から一カ月分が四、五〇〇円に変わります。これは、老令年金の受給者がふえ続けていくと、年金額が物価上昇などに合わせて毎年増額されていくために、給付の足し前をするの負担額もふえ、被保険者の保険料負担もふえてゆかためです。



なぜ、保険料は4月から上がるのですか
三月末に区長さんを通じて古い保険証を回収し、同時に新しい保険証を交付します。
交付された保険証はすぐにご家族の氏名、生年月日、性別等を確認され誤りがあったら役場健康保険係へ申し出て下さい。
古い保険証は四月一日以降使用できません。注意して下さい。
国・県の補助金によって賄っていますので、医療費が増加すれば、それともなう国保税も増額されるわけです。
医療費は毎年増加するばかりです。このままの状態が増え続けた場合国保の制度そのものが崩壊する事にもなりかねません。
三月中に各家庭の医療費をお知らせしますので医療費と国保税の関係について考えてみて下さい。
に役立ててほしいと、金二万円のご寄付がありました。
これら寄せられた善意は、趣旨に添い有意義に活用させていただきます。ありがとうございます。

国民健康保険の 保険証が変わります

昭和五十四年四月に発行された保険証(黄色)が昭和五十六年四月より(空色)の保険証に変更されます。
皆さんの大切な保険証を毎年一回検認し、保険証の有無や資格の再確認を行っていますが、この保険証には有効期限(二年間)があります。
皆さんの大切な保険証を毎年一回検認し、保険証の有無や資格の再確認を行っていますが、この保険証には有効期限(二年間)があります。

昭和55年中のみなさんの 国保の総医療費は?

国保の被保険者の家庭で昭和五十五年一月から十二月までに保健医療機関で受診され医療機関に支払われた医療費は総額で三億八千九百九十九万円で、これは前の年に比較し、四千五百万円、割合にして十七パーセントの増額になりました。

数々の善意 ありがとうございます

ご冥福を祈られて社会福祉のために役立ててほしいと、金二万円のご寄付がありました。
間瀬七区海雲寺さんから数年来続けて発行の養老金を社会福祉のために役立ててほしいと、金一万円のご寄付がありました。
大宇岩室の調理士会より社会福祉のために役立ててほしいと、金九千円のご寄付がありました。
石瀬婦人会より社会福祉のため

広報編集のために

東京都の阿部清松さんから、広報編集のために役立ててほしいと金一万五千円のご寄付がありました。

社協だより

県会長会議に参加しての 諸問題、動向の点描

岩室村社会福祉協議会 会長 本間 八十六郎

過日、神都弥彦会場で全員一〇五名が宿泊し二日間わたり、社協創立三〇周年及び国際障害者年にあたって、中心課題は何かについて研究討議をした。県や各社協から提出された議題で重複したものは一括し、そのうち六題が私よりのものが中心となって討議され、ありがたい限りであった。
▽本村社協より提出した議題
。住民参加による福祉の輪を広げる方策。
。法制化前の法人化への手順。
。先駆的役割へ前進の方策。
。独自の事業に対する予算。
。被保護者の在宅福祉を強調するために。
。国際障害者年に対する具体的な方策。
▽諸問題より点描
。事務局設定と、体制の強化、専任職員と専門員を置くことと併せて研修の機会をもつこと。
。社協の使命を住民に認識させる方策として。
。広報紙発行、ボランティアスクールの設置、善意銀行、住民および学校に対する社協教育の推進、自己財源を確保すること。……など広範にわたる対策が考えられ、特に

暮らしの健康

いつまでも 元気な老年期を

わが国の平均寿命は、男七十三才、女七十九才で、世界でも、一、二位の長生き老人が多くなりました。
岩室でも、八人にひとり、六十才以上の人が、これからどんどん増えてくると思われまふ。
しかし、どんなに長生きしても健康でなければ何にもなりません。ふつう、四十才を過ぎると老化が始まると言われます。でも、老化の進行を遅くし、健康で楽しく暮らす工夫はできます。どのような工夫をするのでしょうか。
① 健康状態を正確に把握する
一般に健康な人は、いつまでも若年期のつもりでいるために、老化のすすんでいることに気づかず、取りかえしのつかない状態になることが多い。反対に病弱な人は、自分の身の状態にばかり気を配りすぎて、不安な気持ちにおちいりがちだといわれます。まず定期的な健康診断をうけ、自分のからだの状態を知っておいてください。
② 知的好奇心を持ちつづけ
知的好奇心に満ちた行動は、脳を刺激し働かせ、若さを保つてくれます。将棋・囲碁をすひけつです。将棋・囲碁をすも、本を読む、ゲートボールのスポーツをするなど、いつまでも好奇心を持ちつづけてください。
③ 社会生活における役割をもつ
人間は誰でもひとりでは生きていくことができません。夫であり父であり課長であるといった役割分担をしながら、社会生活を送っています。老年になっても自分ひとり気ままにすごそうとせず自主的な個人の役割分担をもって暮らしていきましょう。
④ 社会から離脱しないこと
人間は老年になるにしたがって所属集団にやがておこり、そこから離脱しやすくなります。所属をつねに心がけましょう。岩室にある二十六の老人クラブも、とてもよい集団のひとつです。みんなで、スポーツ、奉仕活動、健康について話し合いなどをし、充実した活動を楽しみましょう。
毎日の生活の心がけひとつで、健康な長生きができます。みんな力を合わせ、楽しく健康な老後の生活をつくっていきましょう。